

【DTS】Japan IT Week 関西 AI・業務自動化展 2023(1/18～)に出展 AI 分析モデル自動生成など最新の DX ソリューションを紹介

株式会社DTS(東京都中央区、代表取締役社長 北村 友朗)は、2023年1月18日(水)から1月20日(金)にインテックス大阪で開催される「Japan IT Week 関西 AI・業務自動化展」に出展します。

DTSは、約20年にわたるデータ活用の実績を有しています。これらデータ活用のノウハウにAIやIoTなどの最新技術を融合させたDXソリューションをご提案します。デジタルツイン/AI型第3世代ビジネス・インテリジェンス(以下、BI)ソリューション「Geminiot(ジェミニオ)」をはじめとしたDTSの最新DXソリューションをぜひご覧ください。

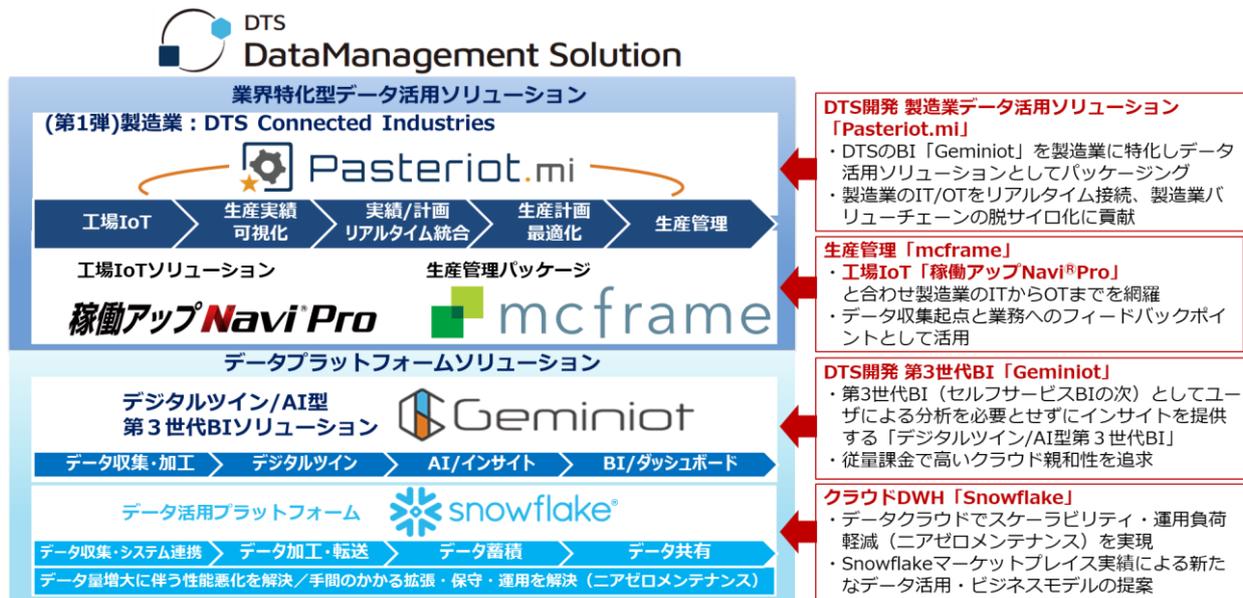
■出展イベント概要

- 展示会 : Japan IT Week 【関西】(関西 AI・業務自動化展)
開催日時 : 2023年1月18日(水)～2023年1月20日(金)10:00～17:00
会場 : インテックス大阪(大阪府大阪市住之江区)4・5号館
主催 : RX Japan 株式会社
入場料 : ￥5000(招待券持参者は無料)
URL : <https://www.japan-it.jp/osaka/ja-jp.html>
ブース : K3-36



■展示内容

データ活用ソリューション「DTS DataManagement Solution」を構成する以下のソリューションを展示します。



●AI 分析モデルとダッシュボードを自動生成するデジタルツイン/AI 型第3世代 BI「Geminiot」

従来の BI では意思決定者の仮説を証明するためにデータの収集・加工、統計的処理や可視化のための高度な開発を行う必要があり、専門の技術者によるセルフサービス BI を用いた開発は多大な時間とコストを必要としました。

Geminiot は、デジタルツイン機能を搭載し業務と KPI を設定することができ、内蔵のデータ加工機能で簡単にデータをつなぐだけで AI 分析モデルとこれに関連するダッシュボードを自動生成します。意思決定者は日々移り変わるビジネス上の課題に自らの手で迅速に向き合うことが可能となります。

<https://dts-dms.com/geminiot/>

●投資対効果の高い DX を実現する製造業データ活用ソリューション「Pasteriot.mi」

生産現場では IoT による生産状況の見える化だけでは効果を説明することができず、生産管理システム主導のカイゼンでは実績データのリアルタイム収集などに課題があり、実効性と投資に見合った効果の伴う DX の取り組みがうまく進みませんでした。

製造業データ活用ソリューション Pasteriot.mi は、Geminiot をコア機能として、製造業向けの IoT データ入力インターフェース、生産管理システム連携機能をパッケージングしています。IT(インフォメーションテクノロジー)と OT(オペレーションテクノロジー)のデータを一元管理し、AI がインサイトを導き出し生産管理システムを通して現場にフィードバックすることで、実効性・投資対効果の高い製造業 DX を実現します。

<https://dts-dms.com/pasteriot-mi/>



●データクラウド「Snowflake」

Snowflake は、データクラウドによって、あらゆる組織がデータをモビライズできるようにします。お客様はデータクラウドを使用して、サイロ化されたデータの統合、データの発見と安全な共有、多様な分析ワークロードの実行を実現します。データやユーザーのロケーションに関係なく、Snowflake は複数のクラウドや地域にまたがる単一のデータエクスペリエンスを提供します。

<https://dts-dms.com/alliance/#snowflake>

●グローバル SCM「mcframe」

mcframe は生産・販売・在庫・原価管理等の各種機能を提供し、組立加工からプロセス製造、個別受注生産まで対応可能な製造業向け SCM(サプライチェーンマネジメント)パッケージです。1996 年の販売開始から世界 17 か国 2,000 サイト、1,000 社以上の導入実績を誇る、製造業デジタルソリューションです。

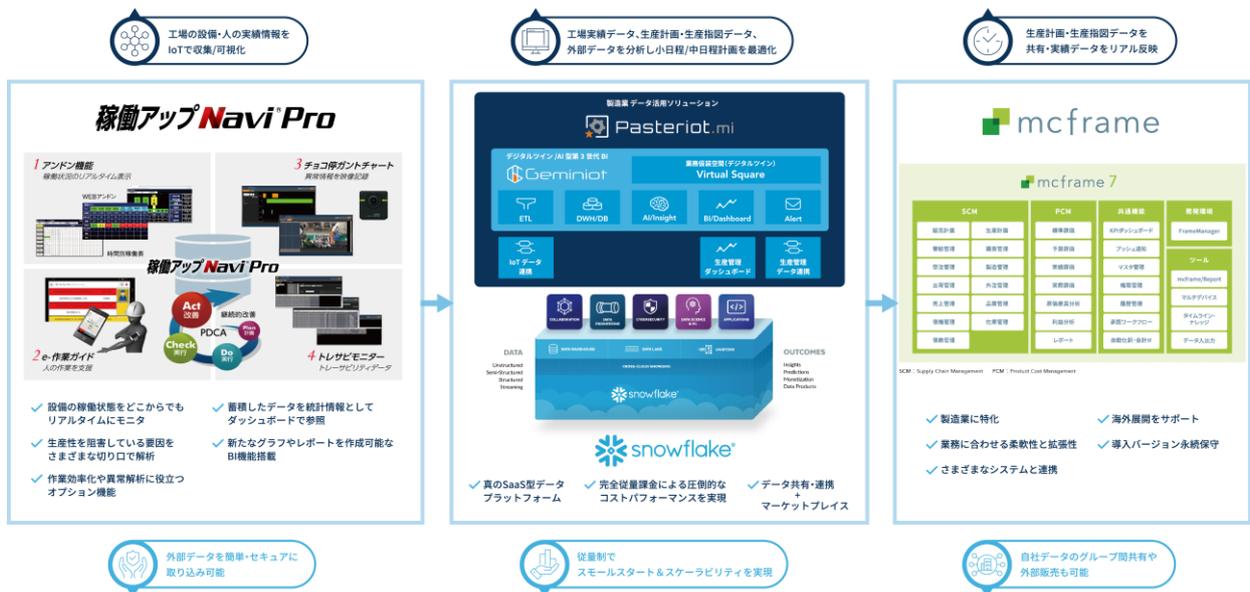
<https://dts-dms.com/alliance/#mcframe>

●工場 IoT ソリューション「稼働アップ Navi® Pro」

稼働アップ Navi® Pro は生産現場の設備・人・情報をつなぐ Jtekt IoE Solution のラインナップの一つで、センサーや PLC などから収集したあらゆる設備の情報を可視化し改善に必要な情報に解析する、トヨタ生産方式に裏付けられたノウハウの詰まったソリューションです。

https://dts-dms.com/alliance/#kadoupnavi_pro

<DTS DataManagement Solution の活用イメージ>



【DTSが目指す DX 社会の実現に向けて】

DTSグループは業種・業界に合わせたデータ活用ソリューションを提供していくことを通じて、時代と共に移り変わるデータ活用の真の価値を追求しお客様にお届けしていきます。

DTS DataManagement Solution は、今後のDTSのデータ活用ソリューションの方向性を具体的な形にしたソリューションです。データ活用のキーテクノロジーとなるデータプラットフォームソリューションと製造業特化型データ活用ソリューション DTS Connected Industries をそれぞれ深化・発展させつつ、他の業種・業界に向けても同様のフレームワークで業界特化型データ活用ソリューションを順次提供していきます。

「データ活用のデファクトスタンダードを日本から」DTSは自社開発製品で独自性を追求しながら他社製品とも幅広く連携・協業し、より多くのお客様に DX の真の価値を提供し続けていきます。

【関連ニュース】

[第1弾、スノーフレイクとの提携によるデータ活用プラットフォームの実現]

<https://www.dts.co.jp/news/2022/press-20220527.php>

[第2弾、生産管理パッケージ mcframe と工場 IoT で製造業向けデータ活用を実現]

<https://www.dts.co.jp/news/2022/press-20220721.php>

[第3弾、2つの新製品投入でデータ活用ソリューションがさらに進化]

<https://www.dts.co.jp/news/2022/press-20221003.php>

[東芝テック、Snowflake マーケットプレイス上で POS パネルデータ提供のトライアルを開始]

<https://www.dts.co.jp/news/2022/press-20221017.php>

※mcframe のロゴ、および本書に記載されているその他すべての mcframe の製品、機能、サービス名は、ビジネスエンジニアリング株式会社の登録商標または商標です。

※稼働アップ Navi[®]Pro のロゴ、および本書に記載されているその他すべての稼働アップ Navi の製品、機能、サービス名は、株式会社ジェイテクトの登録商標または商標です。

※Snowflake のロゴ、および本書に記載されているその他すべての Snowflake の製品、機能、サービス名は、米国およびその他の国における Snowflake Inc.の登録商標または商標です。

※Geminiot のロゴ、および本書に記載されているその他すべての Geminiot の製品、機能、サービス名は、株式会社DTSの登録商標または商標です。

※Pasteriot.mi のロゴ、および本書に記載されているその他すべての Pasteriot.mi の製品、機能、サービス名は、株式会社DTSの登録商標または商標です。

【株式会社DTSについて】

DTSは金融や通信をはじめ、幅広い業種・業態のお客様にコンサルティングから設計、開発、基盤構築、運用までITシステムに関わるさまざまなサービスを提供しています。

本社所在地: 〒104-0032 東京都中央区八丁堀 2-23-1 エンパイヤビル

<https://www.dts.co.jp/>



<本件に関する問い合わせ先>

株式会社DTS デジタルインテグレーション事業部 担当:伊東、須田

TEL: 03-6914-5569 E-mail: solution@dts.co.jp

<報道機関からの問い合わせ>

株式会社DTS 広報部 担当:熊田、新貝

TEL: 03-6914-5463 E-mail: press@dts.co.jp